

筑波大学特別支援教育連携推進グループ 令和6年度現職教員研修の開講式（11月）の様子 （指導力向上研修・1か月）

令和6年度現職教員研修（指導力向上研修・1か月）が始まりました。今年度2人目の研修生は、鳥取県立皆生養護学校から派遣された倉益晶子先生です。11月5日（火）から12月5日（木）の1か月間、茗荷谷の筑波大学東京キャンパスと、附属桐が丘特別支援学校で研修を受けられます。

倉益先生の研究テーマは、「自立活動を主とする教育課程で学ぶ重度重複障害児における教科指導について」です。附属桐が丘特別支援学校での実践実習では、特に障害の重い子供の算数・数学科の授業づくりについて取り組む予定です。

11月6日（水）には、研修の開講式を開催しました。倉益先生は、「すすんで学びを深めてまいります。」と研修に対する抱負を力強く述べられました。1週目は、教育局の先生方・連携推進グループ員による講義や、実践実習を行う附属桐が丘特別支援学校の参観がありましたが、倉益先生は積極的にご質問をされる等、意欲的に研修に臨まれています。

総合演習では、研修テーマに関するプレゼンテーションを行いました。研修中は、附属特別支援学校や、都立の特別支援学校の授業を参観する機会があります。秋が深まり、茗荷谷の台地の木々は紅葉の真っ盛りです。1か月間の研修ですが、有意義な成果を収められることを期待しています。



雷坂次長の挨拶



倉益先生の挨拶



倉益先生の発表（総合演習）



倉益先生を囲んで

開講式と総合演習の様子

